

事業所名	トーコロあおば就労サポートセンター アリーバ				支援プログラム	作成日	令和6年	9月	24日	
法人（事業所）理念	障害のある人の「完全参加と平等」を実現するため、平等性、企業性、民間性を事業理念に、各種障害福祉サービス事業、公益事業等をつうじて事業運営を行っており、厚生労働省や東京都、区・市役所の受託業務なども含め、障害のある人が地域で働き・暮らすことの権利保障のために必要な活動に積極的に取り組んでいます。運営にあたっては、個人情報保護のための体制を整備し、プライバシーマーク付と事業者として認定を受けています。									
支援方針	事業所は、利用者が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、集団生活に適應できるとともに、将来において就労等に円滑に移行できるよう、当該利用者の障害の状況及びその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。 事業所は、利用者及び保護者（以下「利用者等」という。）の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者等の立場に立ったデイサービスの提供に努めるものとする。 デイサービスの実施にあたっては、児童福祉法（以下「法」という。）及び都道府県、区市町村の関係法令等を遵守するものとする。 前3項のほか地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第5条第1項に規定する障害福祉サービスを行う者、児童福祉施設その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携に努める。									
営業時間	10時	00分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	○あり なし		
支援内容										
本人支援	健康・生活	年齢が上がるにつれ、心身ともに変化が起きます。また日々の生活の中でも、心に起きる葛藤が難しくなるタイミングでもあります。頭ではどうすべきか分かっていても、プライドや不安から複雑な気持ちに混乱して行動に移せないことも増えてしまいます。そこで日々の職員との関りやSSTを通して“気持ちを知ること”“怒りや悲しみ、楽しさ嬉しさといった感情に段階を付ける”“感情を絵にして描き表現してみる”等、感情を客観視してコントロールする練習をします。								
	運動・感覚	“緊張”“弛緩”など身体のコントロールをする練習をします。また、視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動や折る、封入、組み立て等の指先トレーニングにより感覚の成長を支援します。体の動きをコントロールすることで気持ちや、テンションのコントロールへの成長も促します。ビジョントレーニング、ミュージックケアや音楽療法も含まれます。								
	認知・行動	“着席する”“表情の変化をよく見る”“話を聞く”“嫌なことにも挑戦してみる”等、課題に向かう姿勢を支援します。「頑張ってたよかった」「出来て嬉しい」と感じられるような支援や関わり方、その内容を工夫します。また、情報を適切に処理、コミュニケーションの難しさから生ずる行動の予防方法を一緒に考えます。1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成、粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成、小集団での活動において適切な行動形成、認知の偏りの配慮といった支援も行います。								
	言語 コミュニケーション	“報告”“連絡”“相談”“傾聴”等、自分も周りも大切にコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジャスチャーやカード等、個々に合った方法を提案し一緒に考え支援します。暴力や、暴言など、社会的には不適切とされる行動も丁寧に観察し、利用者の背景、原因に着目し社会的に適切な行動と一緒に考え工夫し、支援します。また終礼時には活動の報告をプレゼンテーションして言語表出して頂き受容します。他にも自己紹介やコミュニケーションのスキル向上訓練も行います。								
	人間関係 社会性	ソーシャルスキルの習得、向上を目指し支援します。集団での活動や、友達との関わりを通して実践的に学び身に付くよう工夫しプログラムの提供を行います。“挨拶”“ルール”“マナー”“感謝”“謝罪”など社会生活で活躍するスキルが身に付くよう日々の活動から声掛けを行い支援を行います。“友人”“先輩後輩”“協力”“利害”“対立”など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように、一緒に考えます。								
家族支援	ご家族(兄弟を含む)が安心して子育てを行うことができるよう、ライフステージに通じて一貫した支援体制を確保し、サポートを行います。日々の活動やご家庭での様子を共有出来るよう、送迎時に様子の伝達、連絡帳やサービス提供記録、LINEといったツールを用い情報共有を行います。	移行支援	高校2、3年生を対象に自立支援プログラムを提供。 高校卒業後のライフステージの切り替えがスムーズに行くよう、学校、保護者、その他関係機関と連携、情報共有しながら支援を行う。							
地域支援・地域連携	必要に応じて相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携を図ります。また地域にある就労支援事業所とも連携を図り、本人、ご家族の将来に対する不安を和らげ必要な情報を提供します。	職員の質の向上	常勤、非常勤ともに事業所内研修、外部研修に参加している。 事業所内：虐待防止研修、安全運転講習会 外部研修：サービス管理責任者基礎研修及び児童発達支援管理責任者研修							
主な行事等	土曜プログラム：ポッチャやモルック、調理プログラムを就労継続支援B型の利用者と一緒に取り組み楽しみます。 青葉祭：就労継続B型事業所で開催されるイベントに参加します。アリーバの利用者だけでなく、就労継続支援B型、生活介護の利用者とも一緒にイベントを楽しみます。 春休み、夏休み、冬休み：余暇活動の時間に外出、制作、調理といったイベントをその季節に応じて提供し楽しみます。									